

## 第 14 回 札幌市地域自立支援協議会 会議報告概要版

日時:平成 23 年 3 月 24 日(木) 18:30~20:30

会場:STV北 2 条ビル 6 階 1~3 号会議室

### 東日本大震災関連

各相談支援事業所、各区地域部会等で支援をできないか意見交換。今後も情報提供等に努めていくこととした。

### 各部会の進捗状況及び来年度の活動予定について

#### ア 就労支援推進部会報告

23 年度の主な活動予定としてジョブコーチ研修の開催、就労移行支援事業所アセスメントシートを作成するチームとホームページを検討するチームを創設、また部会構成員として企業に参加してもらうことを検討している。

#### イ 相談支援専門部会報告

4つのプロジェクトチーム(報告書、新人研修、中堅研修、事例検討)の活動報告のうち、以前から宿題となっている「相談支援ガイドライン」については、今後の法改正を注視しつつ、作成に時間を要することから、現在進めているプロジェクトチームの活動をもって、ガイドラインとする。4月以降、事務局会議等で23年度予定を検討していく。

#### ウ 地域部会調整会議報告

すべての区で地域部会が立ち上がった。今後、新しい地域部会代表を交えて、改めて地域部会調整会議の機能について考えていきたい。各地域部会の活動報告は別紙「各地域部会の活動内容及び各委員からのご意見」の通りだが、概要は以下のとおり。

中央区~9回の定例会を開催。様々な勉強会や困りごと相談を行った  
北区~3/9に北区全体会を開催。座談会の意見を基に活動内容を検討していく  
東区~3/23にヘルパー対象研修を実施。課題整理、会報紙発行等も行っていく  
白石区~12月に子育てについてシンポジウム開催。部会の在り方について議論中  
厚別区~2/26部会立ち上げ記念講演会開催。幹事会で今後の方向性を検討中  
豊平区~毎月の例会で様々なイベントを開催。4月に総会を開き、今後を考える  
清田区~12/6部会立ち上げ。事例検討を通して、問題提起や意見交換を行う  
南区~子ども部会、事例検討部会を立ち上げ活動していく  
西区~2/28立ち上げ。事務局に協力者を加えて、今後の活動素案を検討する  
手稲区~発達障がいの講演会を開催。次年度の委員構成と計画について検討中

委員からの質問~部会運営の予算はどのようにやりくりしていますか?

事務局から回答~22年度予算は7万円。道の助成金等を活用頂いている。

## エ 運営評価部会報告

22年度第三者評価4か所の結果から、相談支援事業所のマンパワー不足や相談支援の質や内容にバラつきがあることなども共通課題として出てきた。第三者評価は今年度で終了し、今後は自立支援協議会の運営評価機能について、部会の名称変更も含めて、必要とされる機能や今後の活動内容を運営会議にて議論、決定のうえ、新年度の活動を行っていききたい。

### 来年度の活動予定に対する議論

#### 運営評価部会の今後について各委員からの意見

- ・ 相談支援専門部会としても、相談支援事業所による対応のばらつきや考え方の違いがあるため、最低限のガイドラインという形で少しずつ整備していききたい
- ・ 運営評価部会の発展的解消に限らず、自立支援協議会全体会の再編も検討すべき
- ・ 地域移行に関する専門的な議論もしていきたい
- ・ 相談支援事業所の評価だけでなく、他の事業所がどういう状況になっているのか、そういった部分の調査も必要ではないか
- ・ 相談支援は外部評価を受けにく事業所であるため、今後も外部評価を自立支援協議会で引き続き実施してほしい

今後は上記意見を参考に、運営会議に一任し、結論を出すことで決定

#### 自立支援協議会全体に対する各委員からの意見

- ・ 今後の法改正にも関連して、児童の相談支援体制についても、専門部会で議論していければよい
- ・ 地域の課題を抽出する仕掛けがあるとよい。地域部会の活動も含めて、旭川市や千葉市の例を参考に、地域課題を抽出できる仕掛けを考えていきたい

### 障がい福祉施策に係る計画の改定について

事業計画担当係長から計画の改定に係る説明後、今後、各地域部会、各専門部会と意見交換する場をセットしていくこととなった。

#### その他各委員からの意見

- ・ 計画の改定のように、意見を聞かれる場面があるが、すでにある程度決まって上で意見を聞かれる場合と、何も決まっていない段階で意見を聞かれる場合と、いろいろなやり方があるということを協議会としても、市としても認識しておくべき
- ・ 親を対象した勉強会で自立支援協議会がほとんど知られていなかった。事業所以外にも、もっと当事者や親などに協議会のことを広く周知すべき
- ・ 本当にサービスを必要としている人は、こちらから掘り起こしたり、顕在化させて施策に反映させていく必要がある
- ・ 各協議会や会議の横の連携が必要である。情報が共有されていない。横並びで、共同で活動していく。そして、ボトムアップしていくことが大事
- ・ 全体会のホームページを作成して頂きたい